授業科目名・形態	国際看護活動論　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	冨澤　登志子	実務経験の有無	有	開講期	4 年前期
科目ナンバリング	N7-4006				

【授業の主題】

世界の健康問題の解決にはグローバルな視点で考えることが重要であり、諸外国の人々の健康と保健・医療の現状について理解を深めるだけでなく、文化社会文化的な要因が看護に影響することをふまえ必要な基本的知識について理解する。グローバル化をふまえた国際看護の基本理念をもとに，看護師の立場でどのようにグローバルヘルスへ参画していくかを考察する。

【到達目標】

1. グローバルヘルスの概念が理解でき、地球規模での様々な課題に付随する健康課題を理解し、健康格差を生む要因を述べることができる。
2. 海外の看護教育の現状について理解し、説明することができる。
3. 世界の人々の健康に貢献する看護師の活動について説明できる。
4. 看護職に求められる国際的な視点について理解し、看護について考えることができる。
5. 日本における多文化共生と看護の役割を理解できる

【授業計画・内容】

第１回：国際看護とは　国際看護の概念・歴史
第２回：世界の健康の動向と健康に関わる機関・組織
第３回：グローバルヘルス：PHC，MDGs，　SDGs，　人間の安全保障
第４回：諸外国の看護政策と看護教育
第５回：戦争・紛争と難民・避難民の政治的・社会文化的背景、自然災害時の緊急災害援助
第６回：在日外国人・海外で暮らす日本人の健康課題と看護
第７回：各国の医療制度
第８回：やさしい日本語

【授業実施方法】

講義形式であるが、ディスカッションやグループワークも含む

【授業準備】

特にないが、国際情勢に関するニュースに目を向け、情報収集してほしい

【主な関連する科目】

なし

【教科書等】

特に指定しない

【参考文献】

- 森淑江、山田智恵理、正木治恵（2019）国際看護　国際社会の中で看護の力を発揮する．南江堂，東京.
- 竹下喜久子編（2023）系統看護学講座　専門分野　看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学．医学書院，東京.
- 大橋一友，岩澤和子（2018）国際化と看護　日本と世界で実践するグローバルな看護を目指して，メディカ出版，東京.
- 医療×「やさしい日本語」研究会　https://easy-japanese.info/archives/391

【成績評価方法】

課題レポート 90%および授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

・放射線災害に関する急性期の対応に関する訓練および慢性期・復興期の支援など現在も行っています。
諸外国にも訪問し、各国の医療制度や防災システムについて情報収集しています。
・ハワイ大学での留学経験とともに、アメリカでの看護師教育について学んでおります。皆さんに海外の看護教育に関する情報提供も行いたいと思います。

【学生へのメッセージ】

参加される皆様には世界がつながっていること、自分たちの考え方がある意味一方向的であり、世界の人々と全く異なること、多様性を受け入れるということが世界平和だけでなく、日本がさらに発展的に世界で活躍するために大変重要であることを理解していただきたいと思います。一歩外に出る勇気、またチャレンジするアグレッシブさがあるとどんな困難にも対応していけると思います。そのようなメッセージも講義で伝えられたらと考えています。